


 塩冶
地区

社会福祉協議会便り

編集・発行：塩冶地区社会福祉協議会

事務所：塩冶コミュニティセンター内 TEL 21-0248

塩冶社協ホームページ

<http://enyashakyo.skr.jp/>

～平成30年度“評議員会”開催～

平成30年5月10日(木)、今年度の塩冶地区社会福祉協議会評議員会が評議員14名、新旧理事34名、福祉委員3名の参加で開催され、会議では平成29年度の事業報告及び決算並びに監査報告が行われ、また平成30年度の事業計画と予算案が詳細に説明され承認されました。

塩冶社協の事業財源は、香典返しなどの寄附金、参加者の負担金、市社協の補助金、塩冶自治協会や塩冶クラブからの交付金等により賄われています。限られた貴重な財源を有効に活用するためにも、計画とその実行にあたっては地区の諸団体と協働し、また出雲市や出雲市社会福祉協議会と連携・協力し、住民が主役を基本に、真に実効ある地域福祉の増進に努めてまいります。

社協の各事業は今年度より6部会、(1)企画部 (2)総務部 (3)広報広聴部 (4)高齢者福祉部 (5)障がい者福祉部 (6)青少年育成部により各活動を行い、各区域においては理事や福祉委員が中心となって、「ふれあいサロン事業」を行っています。いろいろ工夫された行事が年間を通して行われていますので、是非ともお誘い合わせでご参加ください。

今年は理事の任期となるため、各地区ともに多くの方が交代されています。評議員会で承認された新体制で、5月19日(土)に理事・福祉委員合同の研修会を開催しました。社協活動を理解し、塩冶地区の各種福祉活動を行ってまいりたいと思います。



平成30年度 月別活動計画

5月	理事・福祉委員研修会 GG交流会
6月	戦没者追悼・戦争犠牲者追悼・平和祈念式 話食交流会
7月	福祉座談会 社協便り第91号発行 青少年修養の集い 日本文化体験の集い
9月	高齢者福祉大会
10月	認知症研修会 社協便り第92号発行 児童綱引き大会
11月	福祉座談会、いこいの集い 日本文化体験の集い
12月	社協便り第93号発行
1月	障がい者差別解消法研修会
2月	話食交流会
3月	社協便り第94号発行



〈平成30年度 塩冶地区社会福祉協議会役員名簿〉 下線は新任の理事・監事

会長 中尾一彦(高西南) 副会長 花田敦子(中天神) 周藤祥三(北天神) 吾郷 勲(大正海上)

理事・幹事 錦織二三枝(湯東)、佐藤真澄(中天神)

理事 古瀬勝彦(菅沢)、田口英明(半分)、高瀬行夫(築山)、持田良徳(宮松)、土屋淳(下沢)、矢田邦雄(湯西)、加茂喜美江(弓原)
布野達也(高西南)、大賀幸恵(高西南)、高塚勝昭(高西北)、調整中(高西北)、川上卓也(大正海上)、調整中(大正海上)
大國美幸(天神団地)、錦織信一(北天神)、石原健二(北天神)、廣澤ますみ(南天神)、増原福次(北天神)

監事 桑原弘実(宮松) 大塚昌雄(弓原) 坂本節郎(南天神)

後列左から 佐藤真澄、矢田邦雄、錦織信一
大賀幸恵、野津雅子※、川上卓也、加茂喜美江
布野達也

前列左から 持田良徳、石原健二、高塚勝昭
増原福次、周藤祥三、中尾一彦、花田敦子
吾郷 勲、古瀬勝彦 ※は福祉委員

平成 30 年度 塩冶地区戦没者追悼・戦争犠牲者追悼・平和祈念式

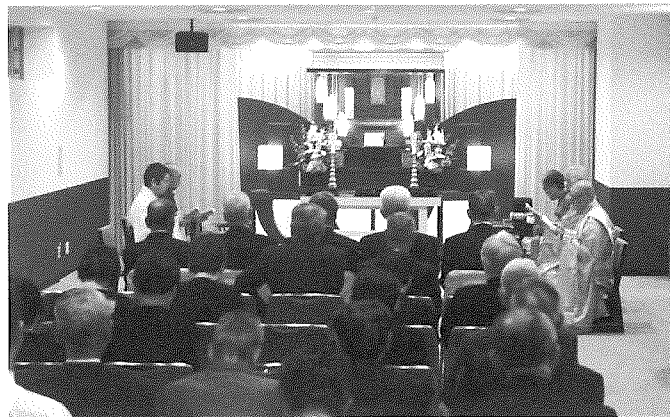


6月2日(土)、セレモール出雲において、塩冶地区社会福祉協議会主催により「平成30年度塩冶地区戦没者追悼・戦争犠牲者追悼・平和祈念式」が、地内5寺(長楽寺、妙傳寺、妙雲寺、本覚寺、浄音寺)により営まれました。

式典には遺族や一般の方を合わせて32名、来賓に塩冶地区自治協会会長 板倉重安様他の出席により、戦没者名簿奉呈、各寺住職による読

経、その後には塩冶地区社会福祉協議会 中尾一彦会長より、戦没者・戦争犠牲者の方へ追悼のことばが述べられました。

続いて塩冶地区遺族会 飯國克郎会長より謝辞があり、式典のお礼と共に戦後73年が経過した遺族会の現状や戦争当時の思い出等の話があり、参列された方各々が当時に想いを馳せ、平和への祈りを新たにされたように思います。式典の後には長楽寺の藤野昭信住職より、恒例の講話を行っていただき、参列者全員で耳を傾けました。



講話：追悼・平和祈念式をご縁に「仏教の教えを考える」



本日の仏式による戦没者追悼式をご縁に、仏教の教えを考えてみたいと思います。仏教は2500年ほど前のインド北部で悟りを開かれたお釈迦様の教えです。「人生は苦しみであり、その苦しみをなくすためには・・・」というお釈

迦様の教えは難しそうに見えますが、内容はシンプルで、次のような生活を続けることです。

①「必要以上に欲しがるな」

お釈迦様は財産を捨て出家されました。しかし私たちは財産を少しでも多くと願っています。またお釈迦様は食べ物も、好きなものを食べるのではなく托鉢をされました。犬は毎日、同じドッグフードを食べていますが、私たちは好きな料理でも三日続けば・・・。

②「嘘をつくな」

カラオケに行ったら友人がものすごい音痴で歌った時、「よくそんな音痴で歌えるな」と正直に言える人は少数派です。「元気のいい歌だな」とか言ってごまかします。ある「嘘つき大会」の優勝者の嘘は「私はこれまで一度も嘘をついたことがない」だったそうです。

③「腹を立てるな」

「今日一日、腹を立てないぞ」と決めても、家族が「あんたにそんなこと出来るもんか」と言われてすぐ腹を立てます。

その他にもありますが、なぜ苦しみをなくすためにこのような生活が必要なのか？

「苦」はインドの言葉を漢字に訳したのですが、そのインドの言葉には「苦」と「思い通りにならない」という二つの意味があります。

人間には欲望(仏教では煩悩と言います)があり、自己中心になりがちです。みんなで写した記念写真も、最初に探すのは自分の顔です。しかも良く写っているか気にしながら。

自分中心だから際限なく欲しがり、手に入れるために嘘をつき、手に入らなければ腹を立てる。世の中思い通りにいかなくて苦しくなる。

その究極の姿が戦争です。

お釈迦様は自己中心の生活を戒められ、聖徳太子は「和をもって貴し。篤く三宝(仏法僧)を敬え」と言われ、浄土真宗の親鸞聖人は「世の中安穏なれ、仏法広まれ」と言われました。

戦没者を追悼し、「仏教の教えを通しての平和を考える」その追悼式によろそご参拝頂きました。



5月20日(日)、天神茶のん話会の第100回記念会(ふれあいサロン会)を特別養護老人ホーム「天神」を会場に56名の参加により開催しました。

天神茶のん話会は、地元5人の有志により発起され、資金は篤志寄附により、平成6年6月に天神集会所において第1回を開催し、その後は社協から助成金を受けてふれあいサロン事業として開催していますが、この度第100回を迎え、これを記念してお祝いの会としました。この記念会には、塩冶地区社協 中尾一彦会長及び塩冶百寿会吾郷勲会長からお祝いのメッセージを頂き、また茶のん話会発起者の一人、湯浅勇蔵さん(95歳)も参加され、100回を迎えた喜びとお祝いの言葉を述べられました。

午前の部は出雲市民病院麻酔科部長鈴木正典先生を講師に「思い出語りは元気のもと」と題しての講演、スクリーンに昔の生活、風物を映しながら(民族学者が撮った写真)、参加者と講師が一緒になって昔を思い出(いわゆる回想法による)、画面を見て講師の質問に、いい答えや面白い答えが出ると鉦や太鼓を鳴らすなど、楽しい方法による認知症予防の勉強会でした。



午後の部は安来節保存会湖陵支部「はまなす会」の皆さんによる「民謡を楽しむ会」をテーマに俵積み唄をはじめ、安来節の唄と踊り、銭太鼓、じょんがら三味線など、ユニークなトークを交え、たくさんのお出し物で盛り上げていただき、参加者は喜びと感動を覚えるほどの盛況でした。お蔭をもって第100回の記念会は盛会裏に終了しました。



(理事 周藤祥三)

6月22日(金)、今年第1回のサロン会を下沢会館において13名の参加者で行いました。今回の講師は「NARD アロマセラピー協会認定アロマセラピストの高橋ともみ」さんです。暑くなる季節に向かって、健康に役立つアロマセラピーの指導を受けながら、安全で安価な手作り虫除けスプレーを作ることになりました。



アロマセラピーとは植物の力を借りて心身の健康を保つ方法、植物の香り成分を抽出した精油の成分が肺から血液の中まで入り、身体や全身の働きを活性化させるのだそうです。

アロマのうんちくの後には虫除けスプレー作りです。スプレーボトル 50ml 1本に虫の嫌いな香りでありながら人には優しい精油+無水エタノール+精製水を調合、市販のものよりとても安価に作る事が可能です。これには「早速畑仕事に使って見るわぁ」といった声も・・・。

次はハンドマッサージです。手は第2の脳とも言われ、皮膚に心地よい刺激を与えることは、脳にも良い刺激を与える効果があるとのこと。先生に指導いただきながら2人1組となって、お互いの手をマッサージ、一通り終わると人によっては右と左の手に違いがはっきりと・・・。自宅に帰っても簡単にできるものです。



アロマの話と体験の後は、大型画面で昔なつかしい映画を楽しもうと用意したDVDから、まずは「綾小路きみまろ」の漫談を楽しみ、その後は橋幸夫や吉永小百合、浜田光夫が出演する「いつでも夢を」を鑑賞、最後にみんなでおしゃべりしながら昼食をいただき、いろいろな話で盛り上がり、今回のサロン会を無事に終えることができました。

(理事 古瀬勝彦)

ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(3月1日から6月30日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名	故人名	区域名	寄附金額

※ 掲載欄の — は、掲載を希望されない方

篤志寄附

寄附者名	寄附金額
・匿名	35,679円

***** 編集後記 *****

新年度が始まり、塩冶社協は新理事を加えての新体制となりました。社協便りの担当となって丸4年が過ぎます。毎回出来るだけ読みやすいようにと考えていますが、日本語はなかなか難しいものです。ですが社協のいろいろな事業を取材したり参加したりと和気あいあい、楽しんで活動と取材を行っています。今年度もよろしく願いいたします。(理事 古瀬勝彦)

料理やろう会と 社協・愛友会との交流会

障がい者福祉部の初めての事業として、6月15日(金)塩冶コミュニティセンター調理室において、“料理やろう会”有志の皆さん(11名)の協力により、愛友会(6名)、社協理事(5名)、合計22名で交流会が行われました。



始めに社会福祉協議会 花田敦子副会長の挨拶があり、“料理やろう会”有志の皆さんに気持ち良くご協力いただいた感謝の気持ちを述べられました。

メニューは蕎麦・餃子・酢の物・キュウリの浅漬けでした。餃子を包んで焼く以外はすべてやろう会の皆さんに下ごしらえをして来ていただき、私たちは1テーブル50個の餃子を包んで焼くことに専念です。



何枚か余った餃子の皮に誰からともなく「蕎麦を入れて蕎麦餃子をつくろう・・・」ということになり、いくつかの美味な変わり餃子の出来上がりです。愛友会のみなさんも餃子づくりを楽しんでいらっしまったようです。



最後に愛友会 伊藤義雄会長より、やろう会代表にお礼が渡されました。

やろう会の皆さんの手際の良さと何をするにもテキパキと早く、アツという間に終わった2時間でしたが、とても実のある交流が出来たと思います。

“弥 栄”

(取材：広報公聴部)

この「地区社協便り」は、出雲市社会福祉協議会からの助成金を財源の一部として発行しております。